

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	市政情報発信事業						担当部	市長公室																					
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	秘書広報課																					
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	広報係																					
	総合計画 分野別計画	主目的	7 行政経営		31 情報の共有化		2 市政情報の発信と市民の意見を聴く機会を充実する																							
		副目的																												
	予算区分	款	2		項	1		目	2		大	4		中	2															
	根拠法令・個別計画																													
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	市民がパソコンなどで手軽に市政情報を得ることができるようにする。																												
	内容 (手段)	<p>■平成24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市公式ホームページ(H10開設)をはじめとしてケーブルテレビ放送(H10)、地上波デジタル放送(H15)、携帯電話など、多様な通信媒体を活用し市政情報を提供。</li> <li>・市公式ホームページについては、全面リニューアル(H19前回リニューアル)を図り、利便性のさらなる向上に努めた。</li> <li>・ホームページシステムの管理や、ケーブルテレビへの情報提供、ケーブルテレビでの本会議ライブ中継など、市政情報を発信するための事務を行った。</li> <li>・新たな通信媒体として、ツイッターでの市政情報等の発信を開始し、情報発信力の強化に努めた。</li> </ul> <p>【直接経費の内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>市政情報番組作成委託料</td> <td>7,403千円</td> </tr> <tr> <td>ホームページシステム保守管理委託料</td> <td>2,620千円</td> </tr> <tr> <td>ホームページシステム再構築委託料</td> <td>19,700千円</td> </tr> <tr> <td>その他通信運搬費等</td> <td>1,712千円</td> </tr> </table> <p>■平成25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページシステムの管理や、ケーブルテレビへの情報提供、ケーブルテレビでの本会議ライブ中継などを引き続き行う。</li> <li>・リニューアルしたホームページシステムの検証および改善を予定。</li> <li>・ツイッターでの市政情報等の発信の周知徹底を図るほか、協働提案事業化制度を活用した「フェイスブックによる市政情報等の発信」も実施する。</li> <li>・効果的・効率的な情報発信への変革を促すため、(仮称)小牧市広報戦略プランの策定を進める。</li> </ul> <p>【直接経費の内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>市政情報番組作成委託料</td> <td>11,555千円</td> </tr> <tr> <td>ホームページシステム保守管理委託料</td> <td>4,700千円</td> </tr> <tr> <td>フェイスブック情報発信委託料</td> <td>515千円</td> </tr> <tr> <td>キッズサイト構築委託料</td> <td>3,000千円</td> </tr> <tr> <td>その他通信運搬費等</td> <td>470千円</td> </tr> </table>											市政情報番組作成委託料	7,403千円	ホームページシステム保守管理委託料	2,620千円	ホームページシステム再構築委託料	19,700千円	その他通信運搬費等	1,712千円	市政情報番組作成委託料	11,555千円	ホームページシステム保守管理委託料	4,700千円	フェイスブック情報発信委託料	515千円	キッズサイト構築委託料	3,000千円	その他通信運搬費等	470千円
	市政情報番組作成委託料	7,403千円																												
ホームページシステム保守管理委託料	2,620千円																													
ホームページシステム再構築委託料	19,700千円																													
その他通信運搬費等	1,712千円																													
市政情報番組作成委託料	11,555千円																													
ホームページシステム保守管理委託料	4,700千円																													
フェイスブック情報発信委託料	515千円																													
キッズサイト構築委託料	3,000千円																													
その他通信運搬費等	470千円																													
受益者負担	無																													

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	7,555	9,999	31,435	20,240	
		正職員	従事者数	人	1.10	1.05	1.15	1.20
			人件費	千円	5,863	5,596	6,129	6,396
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	13,418	15,595	37,564	26,636		
対前年比	%			116.2	240.8	70.9		
財源	一般財源	千円	13,418	15,595	37,564	26,636		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	NHKデジタルデータ放送への情報提供	件	目標	12	12	12
実績				14	13	13	
市役所各課のホームページ作成		件	目標	51	51	53	60
			実績	51	51	59	
ケーブルテレビによる市政情報発信		件	目標	52	52	52	53
			実績	53	53	53	
成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
ホームページアクセス件数	件	目標	490,000	500,000	500,000	900,000	
		実績	664,805	704,832	829,752		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の達成状況	平成24年9月に、よりアクセシビリティに考慮したJIS規格に準拠し、「探しやすくわかりやすい」「誰でも快適に」「常に新しい」、市ホームページへのリニューアルを図ったことにより、アクセス件数が大幅に伸び、市民が手軽に市政情報を得られる体制が整えられた。また、人と人とのつながりを促進し、近年の主要な情報ツールとして確立されているSNSに着目し、ツイッターでの市政情報等の発信も開始し、徐々にフォロワーも伸びている。	
	事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新ホームページについて、実際に稼動したことにより見えてきた改善すべき点等もあると思われる。一定期間を経過した時点で、発信者・受信者双方の視点による検証を行う必要がある。</li> <li>・情報発信に関する有効的なツールは多様にあると思われるため、さらなる調査研究を行う必要がある。</li> <li>・今後、協働によるまちづくりの推進にあたり、市民が情報を得るためだけの場当たりの情報発信ではなく、情報発信を通じて、市民が市政に関心を持ってもらえるよう戦略的に進める必要がある。</li> </ul>	
	事業を縮小・廃止したときの影響	市民に市政情報を提供することができなくなることは、必要な人に情報提供ができなくなり、市民も市政情報を知る機会を失うことになるため、行政にとっても市民にとっても多大な影響を及ぼすこととなる。	
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新ホームページ稼動から1年経過をめぐり、発信者・受信者双方の視点による検証を行う。</li> <li>・新たなWebツールとして、フェイスブックを活用した市政情報等の発信を検討し、平成25年度中の施行を目指す。</li> <li>・市民が市政に関心を持ってもらえるような戦略的な情報発信に向けて、(仮称)小牧市広報戦略プランの策定を進める。</li> </ul>
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	平成24、25年度で情報発信に関するシステムや体制が概ね整備される。そのため、平成26年度はそれらのブラッシュアップを図り、より効果的・効率的な運用への改善に努めていく。	
	26年度以降の改善案	昨今、若年層の市政参画意識の希薄化が顕著になっていることから、市ホームページキッズサイトなど、子どものうちから市政情報等を得られる体制を平成25年度中に整え、平成26年度から、次世代の参画意識の啓発を図る。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。協働提案事業化制度で採択されたフェイスブックの活用が図られており、維持とする。